

京都大学に所蔵されている自然災害史料の解読と画像化(2)
 Interpretation and Digital Scanning of Historical Documents on Natural Hazard
 Collected by Kyoto University (2)

秋田 慧・福岡 浩・五島敏芳・橋本雄太・服部健太郎・伊藤和行・
 岩間研治・加納靖之・○中西一郎・植草眞之介・渡辺周平・安国良一
 Kei AKITA、 Hiroshi FUKUOKA、 Haruyoshi GOTOH、 Yuta HASHIMOTO、
 Kentaro HATTORI、 Kazuyuki ITO、 Kenji IWAMA、 Yasuyuki KANO、 ○Ichiro
 NAKANISHI、 Sinnosuke UEKUSA、 Shuhei WATANABE、 Ryoichi YASUKUNI

The Zenkoji earthquake of May 8, 1847 occurred at about 9 p.m. at the area of the present city of Nagano (old territory of the Zenkoji Temple), central Japan. The earthquake caused house collapse, fire, landslides, and floods due to landslide dam breach. The 1783 eruption of Mount Asama caused ash fall and debris flow. We interpreted old documents, records, picture maps on the earthquake damage collected by Kyoto University. Summary of interpretation of documents including the record of the 1847 Zenkoji earthquake and the 1783 Asama eruption is presented.

1. はじめに

京都大学には、図書館、総合博物館等において、災害に関する多数の古文書・古記録が所蔵されている。しかし、そのほとんどが活用されることなく、書庫に眠っていると見てよく、その存在すら知られていないものもある。これまでに、1847年善光寺地震に関するものとして、7冊の記録、4枚の絵図・かわら版、8枚の陸地測量図（地震後の測量）を確認した。また、1783年浅間山噴火に関するものとして、6冊の記録、1枚の絵図を確認した。これらを活用し、既に報告されている文献記録も含めた文献記録間の比較検討や、絵図等との比較をおこなうことで、1847年善光寺地震や1783年浅間山噴火に関して、より詳細な情報を得ることができる可能性がある。

2. 自然災害史料の解読

われわれは、防災研究所一般共同研究 25G-01「京都大学に所蔵されている自然災害史料の解読と画像化」において、これらの京都大学が収蔵する史料（文献、絵図）を解読し、史料原本の画像とともに公開し、自然災害の歴史に関する教育および研究に供することをめざした活動をおこなってきた。この2年間で、京都大学所蔵の1847年善光寺地震、1783年浅間山噴火、1855年安政江戸地震および1856年安政3年江戸の暴風雨と高潮に関

する古文書・古記録のうち、12件の文献史料の解読をおこない、現在も2件を解読中である。

ここで翻刻した文書の多くは、同じあるいは類似の文書が既存の史料集に収録されている。一方で、これまでに報告されていない文書も含まれているようである。

既往の史料集では、採録の際に、スペースの都合や重複を避けるための配慮等により、一部が省略されている場合がある。しかしながら、複数の文書で一致しない部分が見つかることがあり、また、地震や火山に関する部分のほかにも、災害の様相や社会の状況を記したものなどもあり、全文を翻刻して以後の活用に供することが重要であると考えられる。

3. 自然災害史料の画像化と公開

翻刻した史料については、全文を文字媒体として公表することによって、今後の研究の基礎データとすることができる。文字情報としていけば、全文検索も可能になり、また文献史料自体の画像等と関連づけることにより翻刻の疑問点などを解決することもできる。このような考えにもとづき、権利関係（著作権、所有権等）が解決できれば、ホームページ等での公開を計画している。その際画像とともに公開することで研究等への利便性を高めることができる。